

タッチスクリーン搭載型 5 モードマイクロプレートリーダー

# SpectraMax iD5

10台限定!

2022年  
9月30日(金)  
受注分まで

セット統一価格

500万円

(税込み 550万円)

## 特徴

- ・モノクロメーターとフィルターによる5モード測定機能
- ・タッチスクリーンによるワンタッチ測定
- ・TRF モジュール追加で TR-FRET (HTRF) 測定や専用メンブレンホルダーによるウェスタンブロット検出 (ScanLater) を実現
- ・専用アダプターとスライドを使用したハイスルーブットな微量サンプル測定



詳しくはこちら

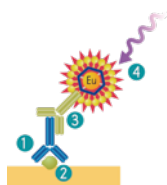


※インジェクター、ウェスタンブロットは別売

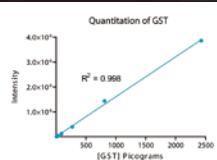
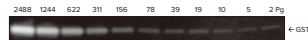
## 選べる 3 種類のセット

### セット A ScanLater ウェスタンブロット検出システム

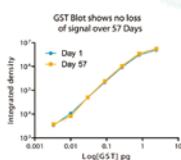
詳しくはこちら



ScanLater ウェスタンブロットシステムのワークフロー。目的のタンパク質②に既存の一次抗体①を使用します。Eu 標識 Scanlater 二次抗体③を一次抗体に結合させた後検出④します。



ScanLater による GST イメージ検出。3 log 線形ダイナミックレンジのバンドシグナル。



GST のバンドシグナルは、57日後でも安定性を示します。

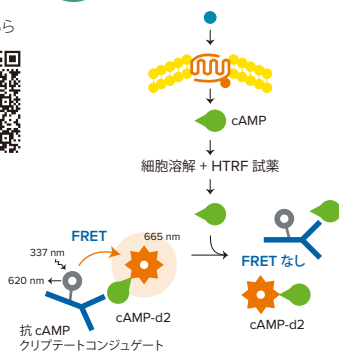
マイクロプレートリーダーによるウェスタンブロット検出が可能になります。ランタニドユーロピウム (Eu) を使用した時間分解蛍光法により化学発光並みの高感度と蛍光並みの安定性を実現しています。

#### セット内容

- ・ iD5 用 TRF Enhancement Module および ScanLater メンブレンホルダー
- ・ ScanLater WesternBlot Assay Kit 評価用 (どれか一つ) ストレプトアビジン、ヤギ抗マウス抗体、ヤギ抗ウサギ抗体、ロバ抗ヤギ抗体、ロバ抗ラット抗体

### セット B HTRF 検出システム

詳しくはこちら



#### HTRF アッセイの例 (cAMP アッセイ)

内在性 cAMP は、抗 cAMP クリプテートコンジュゲートと d2 標識 cAMP と融合し、細胞内 cAMP の増加に伴って FRET が減少します。

※キットは別売

HTRF では、長寿命蛍光のランタニド錯体をドナーとして使用した時間分解 - 蛍光共鳴エネルギー転移 (TR-FRET) のホモジナスな検出が可能です。SoftMax Pro ソフトウェアには、プリセットされた HTRF プロトコルが含まれているため、簡単に結果が得られます。

#### セット内容

iD5 HTRF Detection System (Enhanced TRF module, Filter Slide 2 ケ、TRF Ex 340 nm, TRF Em 520, 616 and 665 nm)

### セット C SpectraDrop 微量サンプル測定プレート

詳しくはこちら



専用アダプタ、テフロンコートされたボトムスライド、蒸発低減スパーサー付トップスライドで構成。



8 または 16 チャンネルピペッターに対応したサンプルポジション。

DNA、RNA およびタンパク質サンプルのハイスルーブットな定量をサポートします。サンプルボリュームは最小 2  $\mu$ L です。

#### セット内容

SpectraDrop Micro-Volume マイクロプレート HTS キット SpectraMax アダプター、24 ウェルサンプルスライド 5 枚、64 ウェルサンプルスライド 5 枚、4  $\mu$ L カバースライド 5 枚、2  $\mu$ L カバースライド 5 枚、保管ケース

# SpectraMax iD5 は基本的なマルチモード測定に加えて 時間分解蛍光・蛍光偏光による測定が可能です

## 時間分解蛍光 (TRF : Time-Resolved Fluorescence)

時間分解蛍光 (TRF) は、長寿命蛍光を発生するランタニド錯体 (Eu, Tb 等) で標識された抗体等を使用します。励起光をサンプルに照射してから数マイクロ秒後に発光を検出することで、自家蛍光が消失し、バックグラウンドを最小限に抑えることができます (図1)。また TRF は、FRET 法を組み合わせた高感度なアッセイ (TR-FRET) にも利用されています (図2)。

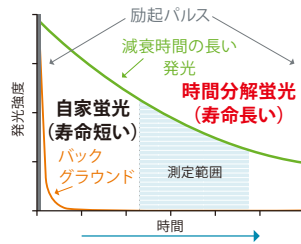


図1 時間分解蛍光の原理

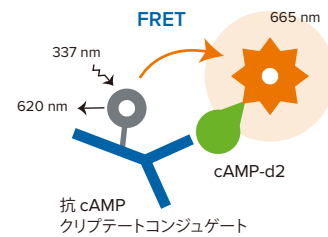


図2 TR-FRET 法による cAMP の検出

詳しくはこちら



## 蛍光偏光 (FP : Fluorescence polarization)

蛍光偏光 (FP) は、生体分子相互作用等の評価に広く使用されています。平面偏光で励起された小さな蛍光分子 (トレーサー) は、励起と発光の間にトレーサーが急速に回転するため、偏光は低下します。トレーサーが大きな分子に結合すると、トレーサーの回転が遅くなり、放出された光は大部分が偏光したままになります (図3)。偏光は平面偏光の変化を示す milli P (mP) により評価します (図4)。

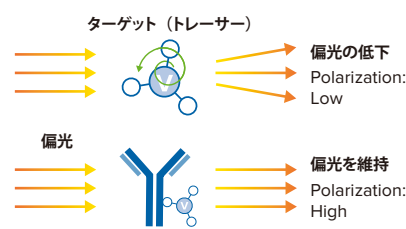


図3 蛍光偏光の原理

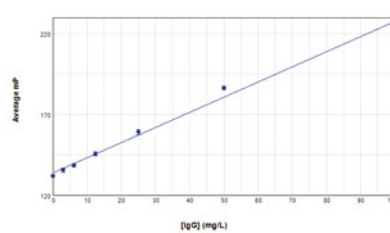


図4 結合抗体濃度による mP の変化

詳しくはこちら



# SoftMax Pro 7 ソフトウェア

世界で最も広く使用されている  
独自開発データ取得・解析ソフトウェア



詳しくはこちら



### 測定からデータ取得までを簡素化

パラメータを独自に設定、あるいは既存のプロトコルを選択しすぐに測定が可能です。またワークフロー機能で測定の自動化や、測定の組み合わせもできます。



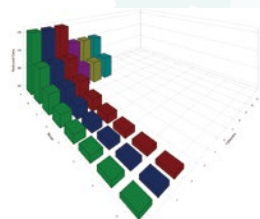
### 数値データのインポート

Molecular Devices マイクロプレートリーダー以外の取得ソースからデータをインポートします。



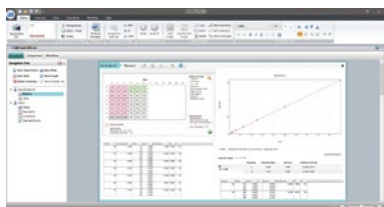
### プロ並みのデータ作成と多様な出力形式

測定データからの多彩なグラフ形式を表示し、柔軟なデータ出力形式によりテキスト形式、エクセル形式、PDF 形式で保存できます。またデータを 3D 表示し、エクスポートすることも可能です。



### 柔軟な計算と数式

単純なカーブフィッティングでも、複数のプレートにわたる広範な計算でも、SoftMax Pro はすべての分析機能をカバーします。



### SoftMax Pro GxP 7.1ソフトウェア

合理化されたワークフローに完全に準拠した FDA 21 CFR Part 11 を実現し、データの整合性を確保するための最も安全なソフトウェアです。

### Contact Us

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

Phone: **0120-993-656**

Web: **www.moleculardevices.co.jp**

Email: **info.japan@moldev.com**